

首都圏 クリップ

東京鶴翔

同窓会の今年初の実行委員会が5日、都内中央区の公民館で行われ

た「写真。鶴翔南高の同窓会で11月3日に開催予定の第53回総会・親睦会に向け、20人が集まりスタートミーティングになった。

「同窓会には長年全く縁がなかったが、いや応なしに参加することになった。そのうち高校時代に戻って、充実感のようなものも出てきて…」と実行委員経験者は話した。幹事役を任せられると役割



分担に関して、おっかなびっくりの引き気味にもなるが、世代を超えた輪の中でなじんでいくもので

もあるようだ。親睦会は毎回テーマがあつて「まず来ばえっちゃ元気でっぞ！」(2012年)「おれも行くさげおめも来い」(13年)「はやぐあいでの〜！ なんだの〜！」(22年)など庄内弁の語り口調はインパクトありつつ、なごめる会を自指す雰囲気がある。

昨秋新型コロナウイルスのため見送っていた親睦会を3

年ぶりに開催、213人が出席した。坂田敬一会長(1967年・第74回卒「柔道部」)は「何か得るものが必ずある。軽い気持ちで来てもらえれば」と言う。「東京鶴翔同窓会」と検索すればホームページにつながる。今年の当番実行委員は卒業年が西暦末尾「7」、卒業回は末尾「4」の人たち。地元庄内から首都圏にいる卒業生への呼び掛けも期待されている。

5月28日は鶴翔北高如松会の東京同窓会が行われるなどコロナ明けの庄内各校の同窓会が行われていく。

(東京支局)